

環境経営への挑戦

田中 正敏 (たなか まさとし/近畿環境興産株式会社代表取締役社長)

当社は、大阪の水産会社を母体に1974年に設立しました。当時社会問題となっていた海洋汚染は、水産会社にとって深刻な問題であり、「自分たちの手で少しでも海を綺麗に」と海洋汚染の主原因である廃油や廃液を処理しようと考えたことが会社設立のきっかけとなりました。1983年に中間処理工場を大阪府に建設し、産業廃棄物である廃油、汚泥等を混合したRF燃料（RF=Reclaiming Fuel、セメント工場向け補助燃料）を製造するリサイクル事業を日本で最初にスタートし、1989年には大分県に九州工場を建設しました。

当時は、不法投棄のニュースがマスコミを賑わし、産廃業者=悪徳業者とのレッテルを貼られ悔しい思いをしました。今日のような安心・安全・コンプライアンスという考えは当時希薄であり、きちんと処理を行っているにも関わらず世間の評価は低く、それどころか廃棄物の法規制はますます厳しくなっていました。その中で、私たちは「適正処理を行う事が当然」をポリシーとして事業を行い、「他社と同じでは伸びていけない」「産業廃棄物業者は汚い、臭い、危険、何をしているのかわからないなどのイメージを払拭したい」との思いから、大阪工場建替を機に、新工場の建屋外観は白色を基調としてイメージを明るくしました。またプラント操作は可能な限り自動運転化するためにコンピュータを導入することで他社との差別化を図ろうと考えました。廃棄物管理では、当時では珍しかった社内LANを構築し、データベースを構築し管理を徹底するとともに、業界内で先駆けて環境マネジメントシステム活動に取り組み、1999年に大阪工場、翌2000年には九州工場と、いち早くISO14001の認証を取得しました。

これを機に、廃棄物処理やリサイクルの現状をより多くの皆様に知ってもらおうとの趣旨で、経営理念、経営指針、環境方針、組織体制、環境パフォーマンスデータ、環境会計への取り組み、環境への配慮、安全への配慮、社会貢献、事故や苦情などの事業活動をありのままに公開した「環境報告書」を業界で初めて発刊しました。

このような環境報告書を先駆けて発行できたのは、早くから廃棄物管理やEMS活動、安全衛生活動、地域との共生の考え方に基づく社会貢献活動などに取り組んできたからでしょう。この反響は大きく、顧客をはじめ関係者から沢山のご意見を頂戴しました。業界で先駆けてISO14001認証取得、環境報告書を発行した弊社に対し、顧客からの評価や信頼は飛躍的に向上するとともに、報告書だけでなくHPでも企業情報、業務内容を情報公開しているため、「真面目な企業」と認知された結果、優秀な人材の確保が容易になりました。現在の技術本部の確立と、世界初の亜臨界水技術による資源生産性向上を目指したリサイクル工場を建設できたのもこれらの活動のおかげです。



堺SC工場 亜臨界水プラント

また、社内では経営理念が浸透することにより、目的・目標・役割が明確になり、業務に対する充実感、達成感が生まれ、社員の業務及び環境への意識が向上しました。そしてこの環境報告書を作成する過程において、当社の事業活動は非常に多くのステークホルダーに支えられていると改めて深く感じる事が出来た事は大変有意義な事であり、発行の継続や対外的な評価は、その後の事業活動に大きな影響を与えるとともに、私たちの取り組んでいる「環境調和型経営」が間違いではないことに大きな自信を得る事ができたのです。

特に、社員の意識の向上は嬉しいもので、環境報告書も社員が原稿書きから編集まですべて手作りで作成していますし、様々なアイデアを出しあい、自主的にボランティア活動やエコ活動に取り組んだりする姿は非常に微笑ましいものです。

この10年間の私たちの活動の積み重ねが評価され、九州工場の地元大分県では、「企業参画の森作り」での協定に調印、1000本の苗木植え活動に参加し、さらには光栄にも環境省より全国で21社目の「エコファースト企業」として認定されるまでに繋がったのです。

「近畿環境興産」を知っていただきたいとの想いからスタートした環境への取り組みでしたが、少しずつ実となっていることを実感しています。



この10年の間に、環境に対する企業や社会の関心や取り組みレベルは格段に高まり、産業廃棄物処理業界だけでなく国全体、地球全体として温暖

化対策をはじめ、省エネやリサイクル、化学物質管理などの対応に迫られてきました。環境技術の開発も大いに進み、今や日本のISO認証取得企業数は世界No.1であり、環境経営は世界のトップレベルにあるといっても過言ではないでしょう。

私たちは、廃棄物処理が重要な社会経済活動の基盤の1つであると考え、事業活動そのものが環境保全活動であるとの観点から、リサイクル会社として廃棄物管理の徹底を図り、適正処理、省エネ、リサイクルを推進するとともに、エンジニアリング会社としても亜臨界水処理技術の様に資源生産性向上に役立つ新しいリサイクル技術や装置の開発を進め、様々な顧客のニーズにフレキシブルに対応したいと考えています。



また、長年培った廃棄物処理の知識や経験を活かしたコンサルティング事業も積極的に展開し、災害廃棄物処理や不法投棄の原状回復等の廃棄物の3Rに関するあらゆるニーズに対して応えることのできる、いわば「ゼロエミッション・エンジニアリング・カンパニー」を目指し、社員の人材育成にも力を注ぎ、全社員が「環境力」を養い、第1回環境力大賞に恥じないよう当社の企業理念である「技術をコアに地球資源を効率よくリサイクルする事により循環型社会構築に貢献できる」環境先進企業として、今後も挑戦し続けたいと考えています。

近畿環境興産株式会社

〒596-0015 大阪府岸和田市地蔵浜町11番地の1
TEL : 072-438-6434 (代表) FAX : 072-422-3617
<http://www.rematec.co.jp/main.htm>